

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	1110
----------	------

## 科目概要記入欄

1. 開設大学	広島経済大学		開催方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□対面（ ）・録画	
2. 科目名	正式科目名	外国為替実務		クラス名	
	副題	外国為替の醍醐味を実体験してみよう		配当年次	2
				受入学年	2年以上
	旧科目名				
	学問分野	番号	24	名称	商学・経営
サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群	
3. 担当教員名	ぬかや ひでき 糠谷 英輝・経営・教授				
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	後期	
6. 開講期間 曜日・時間	2021年 9月29日（水）～ 2022年 1月19日（水） 水曜日 10：45～12：15				
個別開講日	1回目 9/29	2回目 10/6	3回目 10/13	4回目 10/20	5回目 10/27
	7回目 11/17	8回目 11/24	9回目 12/1	10回目 12/8	11回目 12/15
	12回目 12/22	13回目 1/5	14回目 1/12	15回目 1/19	16回目 /
				試験日	/
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数 （総授業定員）	人 （ 人）		9. 定員超過時の 選考方法	なし	
10. 科目内容・ 授業計画	<p>&lt;科目内容&gt; 前期の「外国為替論」を発展させて、外国為替に関する基本的な知識をベースに、より実務的な視点から外国為替を見ていきます。企業における為替リスク対策や管理体制など、外国為替実務に関する一通りの知識を身につけていきます。新興国や企業の動向なども踏まえ、出来るだけ直近の動きを取り上げ、ダイナミックな為替の動き、その影響の大きさを感じ、常に為替相場を意識したくなるような授業にしていきます。毎回、授業の冒頭で、前週の「ドル円相場の動き」を確認し、外国為替に関する理解を深めていきます。また授業の最後に理解度を測る「確認テスト」を実施し、解答を次週の授業の冒頭で解説付きで行います。</p> <p>&lt;授業計画&gt; 第1回 講義ガイダンス／第2回 外国為替市場と外国為替取引を概観する／第3回 外国為替相場の基礎と基軸通貨、ドル化を知る／第4回 為替相場と経済／第5回 為替相場と企業／第6回 主要通貨の姿～円、ユーロ、豪ドル・NZドル／第7回 主要通貨の姿～人民元とSDR／第8回 新興国の為替制度と通貨危機／第9回 為替相場の変動をどう見るか／第10回 為替相場変動リスクをどのように管理するか／第11回 為替相場変動リスクのヘッジ手法／第12回 デリバティブ取引を使う（先物為替取引）／第13回 デリバティブ取引を使う（通貨スワップ取引）／第14回 デリバティブ取引を使う（通貨オプション取引）／第15回 講義全体のレビュー</p>				
11. 試験・評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験（65%）</li> <li>・中間レポート（15%）</li> <li>・毎回授業終了時の確認テスト、受講態度（20%）で評価します。</li> </ul>				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中は私語、携帯電話の使用、飲食は厳禁です。他の受講生の迷惑にならない様に十分に留意して下さい。</li> <li>・前期「外国為替論」の履修終了者が望ましいですが、重要なポイントに関しては、基礎的な項目に関する説明も行います。「外国為替論」未履修者も受講可能ですが、講義内容で追いつけない箇所が出て来た場合には、自ら勉強するとともに、積極的に質問に来て下さい。</li> </ul>				
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ		可	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ		可	否	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料提示）へ変更になる場合があります。